

生活環境

●石橋第二浄水場耐震化事業 8,038万8千円

南海トラフ巨大地震などの大規模地震発生に備え、石橋第二浄水場の5号配水池の耐震補強工事を実施します。



●猫避妊手術費補助 130万円

飼い主のいない猫の繁殖を抑えるため、避妊手術費を補助します。

まちの魅力、文化的な暮らし

●美術館特別展「生誕120年記念 荻須高德展 -私のバリ、バリの私-」の開催 2,000万円

稲沢市出身の画家、荻須高德の生誕120年を記念し、特別展を開催します。

●東京2020オリンピック・パラリンピック事業 110万円

市内企業に所属している選手が出場するオリンピックの試合において、パブリックビューイングを行い、市民が一体となって応援する機会を提供します。また、オリンピック出場選手などへの奨励金の交付やパラリンピックの採火式を開催します。

行政経営改革

●電子申請サービス導入事業 115万3千円

マイナンバーカードとスマートフォンを利用して、住民票や税証明書などの申請ができる非接触型サービスを導入します。

●キャッシュレス決済導入事業 22万7千円

住民票など、市民課窓口の手数料支払いにおいてキャッシュレス決済を導入します。

●スマホ決済導入事業 59万3千円

新たなキャッシュレス決済としてスマートフォンアプリ(LINEPay、PayPay、PayB)による納付サービスを導入します。



●おくやみコーナー設置事業 4万9千円

死亡届の提出後に発生する各種手続きに対して、ワンストップで対応する窓口を設置します。

活力あるまちづくり

まちの基盤づくり

●稲沢おでかけタクシー事業 2,480万円

75歳以上の高齢者や障害者などの外出支援事業である「稲沢おでかけタクシー」の本格運行を実施します。

●国府宮駅周辺地区再開発推進事業 600万円

「再開発推進計画」の策定に向けた各種検討を行い、名鉄国府宮駅周辺地区の再開発事業を推進します。



●稲島東・高御堂南・正明寺・国府地区まちづくり支援事業 590万円

稲島東・高御堂南・正明寺・国府地区の各地区における土地区画整理事業の立ち上げを目的に、準備組合の設立に向けた支援を実施します。

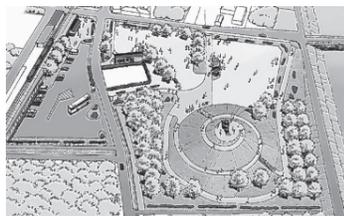
●鉄道立体交差化に係る費用便益分析事業 1,480万円

名鉄国府宮駅周辺で検討している名鉄名古屋本線の鉄道高架化について、費用額と便益額を算出し比較することにより、社会・経済的な側面から事業の妥当性を評価します。

産業・労働

●祖父江ぎんなんパーク運営管理事業 1,843万6千円

祖父江ぎんなんパークのオープニングセレモニーを実施するほか、そぶえイチョウ黄葉まつりのメイン会場としての利用、ぎんなんを活用したイベントの実施など、積極的な活用を図ることで県内外へPRします。



●小規模事業者活性化補助(いなざわ事業者げんき補助金) 3,000万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小規模事業者への継続的支援として、売上・収益改善の取り組みや感染症予防対策に対し補助します。

子育て・教育

●森林環境譲与税活用事業(新生児木のおもちゃプレゼント事業・木のおもちゃ整備事業) 560万円

森林環境譲与税を活用し、国産木材を使用したおもちゃを新生児に贈呈するとともに、児童館・児童センター、放課後児童クラブ、子育て支援センターに木のおもちゃを整備します。

●保育支援者配置事業 324万8千円

保育士の負担軽減および保育の質の向上のため、保育士でなくても担える業務を行う、保育支援者を一部の保育園に試行的に配置します。

●スクール・サポート・スタッフ配置事業 742万3千円

教職員の多忙化解消のため、雑事務に従事するスクール・サポート・スタッフを大規模な小中学校に配置します。

●小学校音楽室空調設備整備事業 1億円

児童の学習環境改善のため、小学校全校の音楽室にエアコンを整備します。

●ICT支援員配置事業 3,660万円

タブレット型PCを授業や学校生活で有効に活用するため、ICT支援員を配置し、教職員研修、授業支援、教材作成支援などを実施します。

●学校運営協議会設置事業 256万円

学校、保護者、地域住民などが連携して学校運営に意見を反映させる仕組みを全小中学校にて構築します。

安心・安全

●自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助 132万円

自転車乗車用ヘルメットの着用を促進し、交通事故などによる頭部損傷を軽減するため、ヘルメットの購入費用を補助します。

●消防団詰所(第6分団)整備事業 7,809万円

老朽化した消防団第6分団の詰所を移転整備します。



●避難所資器材整備事業 2,460万円

新型コロナウイルス感染症対策のための資器材を各避難所に整備します。

令和3年度 新規・拡充事業

『稲沢市ステージアッププラン(第6次稲沢市総合計画)』の目指す「市民が、将来もずっと暮らし続けるまち」、「名古屋圏で働く人が、暮らしの場として憧れるまち」を実現するため、「子育て・教育」、「まちの基盤づくり」などの事業を推進する中で、今年度初めて取り組む事業と、これまでより予算を拡充して取り組む事業などを紹介します。

人にやさしく

福祉・健康・医療

●地域包括支援センター事業 1億3,500万円

「福祉の拠点」の整備に伴い、高齢者人口の増加とともに複雑化する市民相談のワンストップサービスを実施するため、地域包括支援センター間の総合調整、後方支援などを行う基幹型地域包括支援センターを設置します。

●地域生活支援事業 8,204万9千円

社会福祉協議会内に成年後見センターを開設するなど、障害のある方が住み慣れた地域で自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、地域生活支援事業のさらなる充実を図ります。



●フレイル予防事業 38万3千円

「健常な状態」から「要介護状態」の中間であるフレイル状態にならないよう、栄養指導・口腔ケアの専門家による栄養・口腔機能の教室を開催するなど、フレイルの予防・改善に向けた取り組みを進めます。

●高齢者補聴器助成事業 90万円

認知症予防のために、住民税非課税世帯で聴覚障害を理由とする身体障害者手帳を所有していない70歳以上の高齢者を対象に、補聴器の購入費用を助成します。

●認知症高齢者等個人賠償責任保険事業 17万1千円

認知症の方や介護家族の日常生活上の不安を解消するため、市が契約者となり個人賠償責任保険に加入します。